

かわさき市政カレンダー

(2022年1月～12月)

1月

富士通フロンティアーズ、 第75回ライスボウルで優勝

富士通フロンティアーズが、アメリカンフットボール日本選手権「第75回ライスボウル」で、パナソニック・インパルスと対戦し2年ぶり6度目の日本一に輝いた。

2月

国内初の水素電車、南武線での試験走行を発表

川崎市と低炭素化・スマート化の協力などで包括連携協定を締結しているJR東日本が開発した、水素を燃料とする鉄道車両「水素ハイブリッド電車(愛称:HYBARI/ひばり)」の試験走行が南武線川崎・登戸駅間などで開始されることが発表された。

3月

羽田空港とキングスカイフロントを結ぶ 多摩川スカイブリッジが開通

川崎市と東京都の共同で「多摩川スカイブリッジ」が整備され、3月に開通。4月からは、京急大師線大師橋駅や浮島バスターミナルと、京急空港線天空橋駅とが路線バスでも結ばれた。

川崎ブレイブサンダース 天皇杯を連覇

川崎ブレイブサンダースがバスケットボール第97回天皇杯の決勝戦で千葉ジェッツに勝利し、5度目の日本一に輝いた。

4月

4年制の川崎市立看護大学が開学

短大から4年制大学へと移行した川崎市立看護大学が開学。医療機関はもとより、地域包括ケアシステムに資する人材の養成を目指す、4年制大学として生まれ変わった。保健師コースも設置。

藤子不二雄[Ⓐ]さん、亡くなる

長年市内で暮らし、「忍者ハットリくん」「怪物くん」「笑ッせえるすまん」などの作品を世に残した藤子不二雄[Ⓐ]こと安孫子素雄さんが亡くなった。

国の「脱炭素先行地域」に選定

地域特性等に応じた先行的な脱炭素の取り組みにより、2030年までに民生部門の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロの実現を目指す国の「脱炭素先行地域」に本市が選定された。「脱炭素アクションみぞのくち」などの事業内容が評価されたもの。

5月

「はいさいフェスタ」開催。

沖縄本土復帰50周年の節目に

多くの沖縄県出身者が暮らし、1996年からは那覇市とも友好都市となった川崎で、本物の沖縄文化を体験できるイベント「はいさいフェスタ」がラッタデッラ周辺で開催。沖縄本土復帰50周年の節目の年に盛り上がりを見せた。

多摩川スカイブリッジが

本市初の土木学会田中賞を受賞

橋梁・鋼構造工学での優れた業績に与えられる田中賞を多摩川スカイブリッジが本市で初めて受賞。多摩川河口の豊かな自然環境に最大限配慮し、維持管理性や景観性の両立を追い求め、他には類をみない橋梁美を実現させたことが高く評価された。

6月

川崎ブレイブサンダース・

藤井祐真選手がMVP受賞

Bリーグ2021-22シーズンにおいて、藤井祐真選手が最優秀選手賞(MVP)を受賞。市は藤井選手に「川崎市スポーツ特別賞」を贈呈した。

7月

川崎市子ども夢パークを舞台にした映画

「ゆめパのじかん」全国公開開始

2003年に高津区に開設した川崎市子ども夢パークを舞台にしたドキュメンタリー映画「ゆめパのじかん（監督・重江良樹）」が全国で公開された。

米ワールドゲームズのブレイキンで湯浅亜実さんが金メダル、半井重幸さんが銅メダルを獲得

世界最高水準のアスリートが競い合う国際スポーツ競技大会「ワールドゲームズ」の「ブレイキン」競技で川崎市在住の湯浅亜実（Ami）さんが金メダル、半井重幸（Shigekix）さんが銅メダルを獲得した。

8月

量子人材育成プログラム開催

量子分野の産業化をけん引する次世代の人材輩出を目指して、市内の高校生を対象に4日間の「量子ネイティブ人材育成プログラム」を開催。アジア初となる商用量子コンピュータの実機見学やプログラミング体験などが行われた。

第1回川崎市長杯ボッチャ大会開催

パラスポーツの普及促進を目的に、パラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」の川崎市長杯を初開催。EXILE松本利夫さんも参戦した。

若者文化の創造発信拠点、カワサキ文化会館オープン

市の若者文化の発信に関する基本計画に基づき、株式会社DeNA川崎ブレイブサンダースが、日常的に若者文化を創造・発信する拠点として、バスケットボール、スケボー、BMX、ブレイキン、ヒップホップダンスなどの体験・交流ができる「カワサキ文化会館」を開業した。

9月

「かわさきスペシャルサポーター」にSHISHAMOとsumika

20～30歳代を中心に絶大な支持があり、発信力

の高い本市ゆかりのインフルエンサーと連携して、シビックプライドの醸成や市のイメージ向上などを図る「かわさきスペシャルサポーター」の第1弾として、アーティストのSHISHAMOとsumikaが就任した。

10月

かわさきSDGs大賞を初開催。「おつけもの慶」が大賞を受賞

SDGs（持続可能な開発目標）の推進に向け優れた取り組みを表彰する「かわさきSDGs大賞」が初めて開催され、大賞に「おつけもの慶」が、優秀賞には「DeNA川崎ブレイブサンダース」が選ばれた。

11月

かわさき市民祭りが3年ぶりに開催

新型コロナウイルス感染症の影響により2年間中止となっていた「かわさき市民祭り」が3年ぶりに開催された。パレードやステージイベントは中止となったが、かわさき名産品や全国の物産展などでにぎわい、約40万人が来場した。

12月

W杯日本代表として川崎ゆかりの選手が大活躍

サッカーワールドカップカタール大会で、日本代表はベスト16入り。川崎にゆかりのある選手たちが多数出場。「三笥の1ミリ」に日本中が沸いた。

名産品の自動販売機「川崎イイモノ直売所」を麻生郵便局に設置

川崎の農産物加工品や名産品の自動販売機「川崎イイモノ直売所」が、麻生郵便局敷地内に設置された。麻生区の防空壕で栽培されたきくらげなど17種類を販売。自販機は、川崎アゼリアに続いて市内2箇所目。

NECレッドロケッツ、皇后杯で初優勝

令和4年度皇后杯全日本バレーボール選手権大会決勝でNECレッドロケッツが東レアローズに勝利し、初優勝。古賀紗理那選手がMVPを獲得した。